報告資料（２）

令和７年６月２６日
指　　導　　部

令和8年度使用都立高等学校（都立中等教育学校（後期課程）及び都立特別支援学校（高等部）を含む。）用教科書の調査研究資料について

都立高等学校（都立中等教育学校（後期課程）及び都立特別支援学校（高等部）を含む。以下「都立高等学校等」という。）において使用する教科書について、学習指導要領の各教科の目標等を踏まえ、各教科書の特徴や違いが明瞭に分かるよう、調査研究を行い「教科書調査研究資料（共通教科）」及び「教科書調査研究資料（専門教科）」を作成した。

さらに、都立特別支援学校（高等部）において使用する教科書については、障害のある生徒の実情等を踏まえ、各教科書の特徴や違いが明瞭に分かるよう調査研究を行い、「教科書調査研究資料（特別支援学校）」を作成した。

１　調査研究の対象とした教科書

文部科学省作成の「高等学校用教科書目録（令和８年度使用）」に登載されている文部科学省検定済教科書のうち、令和６年度に行われた検定において新たに合格した253点である。

なお、これらは、新学習指導要領（平成30年文部科学省告示第16号）に基づいて編集されたものである。

２　都立高等学校等において使用する教科書の調査研究の項目

(1) 内容

学習指導要領に定められた各教科・科目の「目標」及び「内容」等を踏まえ、この目標等と関連する調査項目を教科ごとに設定して調査研究を行い、その結果を分かりやすく記述した。

また、教科書の特徴をより明確にするため、全教科において「我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫」「人権問題（同和問題、北朝鮮による拉致等）に関する特徴や工夫」「安全・防災や自然災害の扱い」「オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫」「固定的な性別役割分担意識に関する記述等」について調査研究を行った。

(2) 構成上の工夫

各教科書の違いが明瞭に分かるよう、各教科書の構成等において、デジタルコンテンツの扱い及びユニバーサルデザインの視点について調査研究を行い、その結果を分かりやすく記述した。

３　都立特別支援学校（高等部）において使用する教科書の調査研究の項目

障害のある生徒が使用するに当たり、次の観点で調査研究を行い、その結果を分かりやすく記述した。

(1) 内容

ア　学習の課題や要点が単元の初めや終わりにまとめてあるなど、要点を押さえた学習ができるか。

イ　学習の振り返りのまとめの問題や発展的な課題があるか。

(2) 構成上の工夫

ア　学習のポイントとなる重要語句等の強調や、振り仮名、段組み、１ページ当たりの構成、欄外の使用、図表の配置、手順の示し方等が適切であるか。

イ　全体の構成（大きさ、色、巻頭・巻末ページの扱い、写真・イラスト・図等の量等）が適切であるか。

ウ　その他の特色・配慮が必要な事項（単元当たりのページ分量、解説の工夫、背景色や地紋による文字が読みにくいなどの配慮事項等）が適切であるか。

４　「教科書調査研究資料」の取扱い

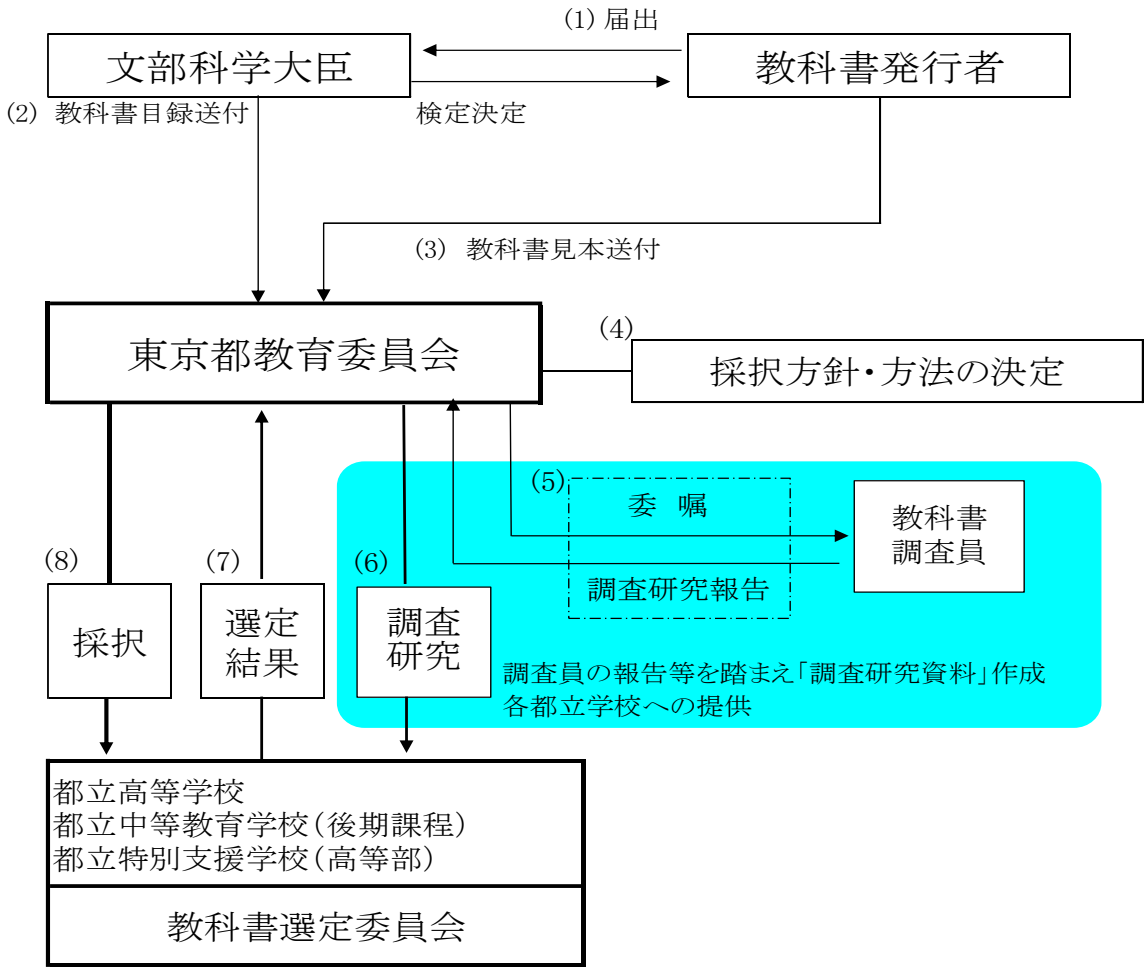
各都立高等学校等は、「高等学校教科書調査研究資料（共通教科）」、「同（専門教科）」、「同（特別支援学校）」を、各学校が設置する「教科書選定委員会」において教科書を選定する際の資料として活用する。

東京都教育委員会においては、これらの「教科書調査研究資料」及び各都立高等学校等による教科書選定結果等を総合的に判断し、各都立高等学校等で使用することが適当と認める教科書を採択する。

都立高等学校用教科書採択の概要

～都立中等教育学校(後期課程)及び都立特別支援学校(高等部)用を含む～

1　教科書の採択の仕組み



2　令和8年度使用都立高等学校用教科書の採択に関する日程(予定)

令和7年4月10日	教科書の採択方針について(報告)
6月26日	教科書の調査研究資料について(報告)
8月下旬	教科書の採択について(議案)
令和8年3月	附則9条本の採択について(議案)

高等学校用教科書の検定・採択・使用開始スケジュール

（◎:検定　●:調査研究・採択　○:使用開始）

学校種別等		年度（西暦）	H30（2018）	H31（2019）	R2（2020）	R3（2021）	R4（2022）	R5（2023）	R6（2024）	**R7（2025）**	R8（2026）	R9（2027）
高等学校	主として低学年用	検定		(◎)	◎				◎			
		調査研究・採択			(●)	●				●		
		使用開始				(○)	○				○	
	主として中学年用	検定			◎	◎				◎		
		調査研究・採択				●	●				●	
		使用開始	○				○	○				○
	主として高学年用	検定				(◎)	◎	◎英コミュⅢ			◎	
		調査研究・採択	●				(●)	●	●英コミュⅢ			●
		使用開始		○				(○)	○	○英コミュⅢ		

※太線以降は、新学習指導要領の教育課程実施に伴う教科書
※（ ）書きは、採択替えの年度であるが、文部科学省の検定に新たに合格した教科書がなかったもの

(1)検定は文部科学大臣が行う。採択は、都立学校については東京都教育委員会、区市町村立学校については区市町村教育委員会、国・私立学校については各学校の校長が行う。

(2)太線以降は、新学習指導要領（高等学校学習指導要領（平成30年文部科学省告示第68号））の教育課程の実施に伴う教科書についてである。

(3)高等学校用教科書と一般図書は毎年度採択替えを行える。表中では調査研究を実施する年度を示している。

令和6年度　教科用図書検定結果の概要（高等学校用）

令和6年度においては、令和8年度から高等学校の主として低学年用として使用される教科用図書の検定が実施された。
教科・種目別の検定実施結果は以下のとおり。

（共通教科）

区分		申請受理点数	検定終了点数			申請取下げ
			合格	不合格	計	
国語		33	33	0	33	0
	現代の国語	18	18		18	
	言語文化	15	15		15	
地理歴史		21	21	0	21	0
	地図	3	3		3	
	地理総合	7	7		7	
	歴史総合	11	11		11	
公民		13	13	0	13	0
	政治・経済	1	1		1	
	公共	12	12		12	
数学		40	40	0	40	0
	数学Ⅰ	20	20		20	
	数学A	20	20		20	
理科		43	43	0	43	0
	科学と人間生活	5	5		5	
	物理基礎	10	10		10	
	化学基礎	12	12		12	
	生物基礎	11	11		11	
	地学基礎	5	5		5	
保健体育		3	3	0	3	0
	保健体育	3	3		3	
芸術		10	10	0	10	0
	音楽Ⅰ	4	4		4	
	美術Ⅰ	2	2		2	
	書道Ⅰ	4	4		4	
外国語		41	41	0	41	0
	英語コミュニケーションⅠ	24	24		24	
	論理・表現Ⅰ	17	17		17	
家庭		18	18	0	18	0
	家庭基礎	12	12		12	
	家庭総合	6	6		6	
情報		13	13	0	13	0
	情報Ⅰ	13	13		13	
理数		1	1	0	1	0
	理数探究基礎	1	1		1	
小計		236	236	0	236	0

（専門教科）

区分		申請受理点数	検定終了点数			申請取下げ
			合格	不合格	計	
工業		5	5	0	5	0
	機械工作	1	1		1	
	機械設計	1	1		1	
	工業情報数理	1	1		1	
	電気回路	2	2		2	
商業		12	12	0	12	0
	ビジネス基礎	3	3		3	
	簿記	4	4		4	
	情報処理	3	3		3	
	ビジネス・コミュニケーション	2	2		2	
小計		17	17	0	17	0
合計		253	253	0	253	0